

Nゲージ向けペーパーキット カラー硬質紙をレーザー加工 塗装不要

# 給砂塔と砂焼き小屋



給砂塔と砂焼き小屋を結ぶパイプ付

組立例

サイズ：約幅45×奥行30×高さ60mm (給砂塔)：幅84×奥行31×高さ32mm (砂焼き小屋)



組立に必要なもの  
・ペンセット  
・カッター  
・木工用ボンド  
・パイプ  
・爪楊枝



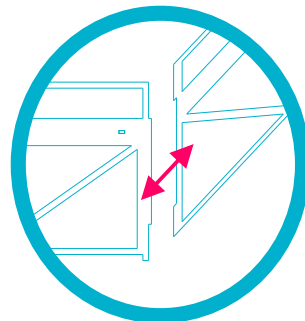
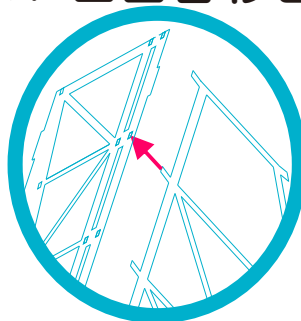
ご注意ください

・本キットは15歳以上の模型経験者向け商品です。  
・お子様の使用には必ず保護者の同意を得てください。  
・目や口を開かないでください。  
・本品は鋭利な部分があります。取り扱いの際はご注意ください。  
・無切や破損や切欠のある部品は使用しないでください。  
・安全にご使用ください。

3800

## 組立は差込み or 凹凸合わせ

基本的には、接合面に  
を塗布しては着よく  
差込む、合わせ精度よく  
凹凸を合わせることで  
組み立てができます。



# 1003



# Nゲージ向け 給砂塔と砂焼き小屋組立説明書

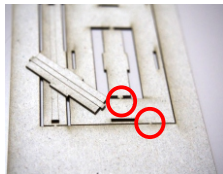
## 組立前に必ずお読みください

- ・部品はデザインナイフ等で丁寧に切り離してください。
- ・接着は（木工ボンドを爪楊枝で）接合面に載せる様に塗布します。
- ・ボンドの水分で紙が柔らかくなり差込みづらくなる為、ボンドは**凸部分を避けて塗布**します。
- ・接着した部品を剥がすのは困難です。説明書を参考に全体の流れを理解した上で接着しましょう。



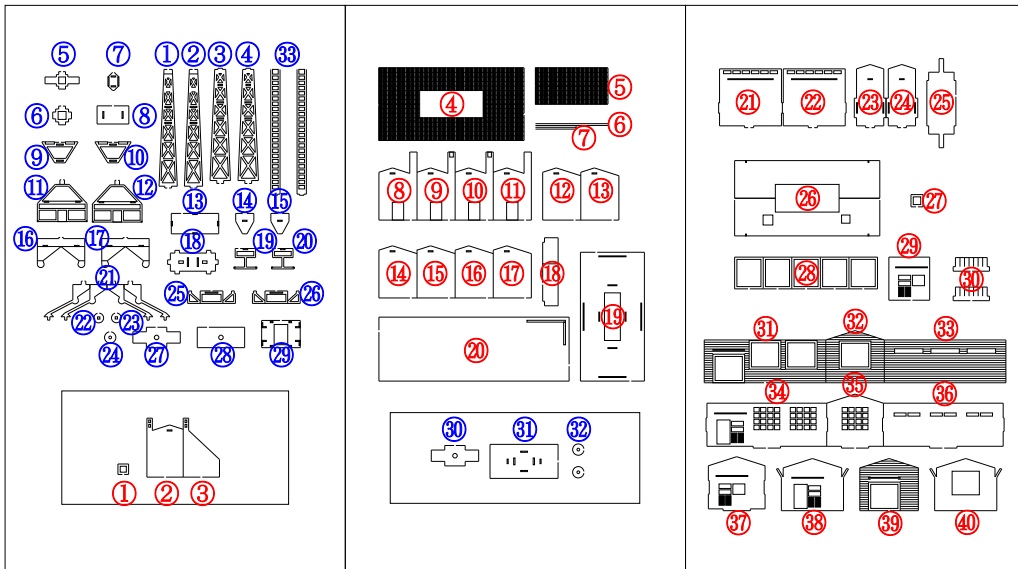
～ご用意ください～

- ・デザインナイフ
- ・クラフトボンド  
（木工ボンドと爪楊枝）
- ・ピンセット
- ・カッターマット



部品は、写真赤丸の様に、数カ所所で留まっています。光に透かしますと、分かり易いです。

## 部品番号表



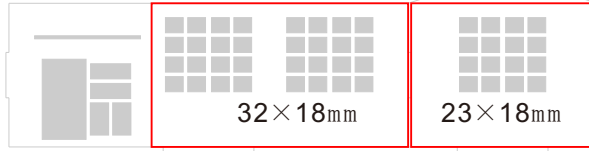
※青数字は給砂塔の部品、赤数字は砂焼き小屋の部品です。

## ガラス「型」

ガラスは透明外箱を寸法に切出して接着してください。



ほぼ実寸です。赤枠の内側に収まるようにします。仮合わせを行ってから接着します。



## アドバンスペーパーキットについて

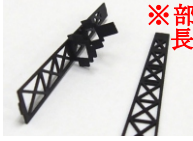
- ・カラー硬質紙をレーザーカットしており、加工時に切断面に焦げや煤が付着します。
- ・焦げ・煤が原因で指が汚れたり、焦げ臭い場合もありますが予めご了承ください。
- ・未切断や抜け残しがありましたらデザインナイフ等で取り除いてください。

当キットは給砂塔の組立難易度が高いです。  
凸部分を避けてボンドを塗布すること、差込みの際に凸部分を曲げない様に注意します。

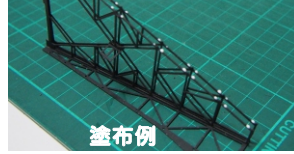
## 給砂塔の組立方法

ボンドは少量を接合面に  
載せる様に塗布します。

1. まず、鉄塔部分から組み立てていきます。  
最初に、部品⑤⑥に①②を差込み接着します。  
①②と③④を間違えない様に注意してください。

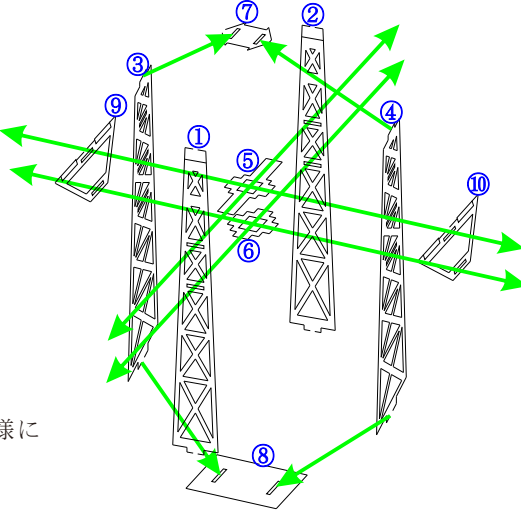


※部品⑤は  
長い凸側を差込みます。



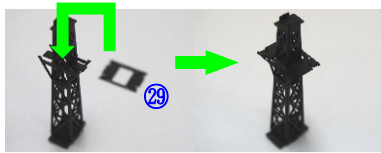
塗布例

- ③④を接着します。  
⑦⑧は、③④のみにボンドを塗布して差込み接着します。  
⑨⑩を、⑤(短い凸)と⑥に差込み接着します。

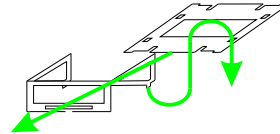
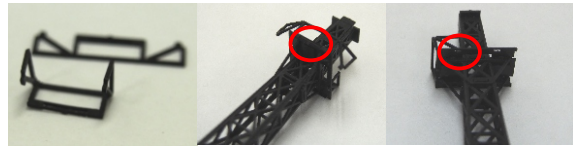


※部品⑤の向きに注意

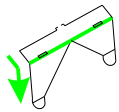
2. 操作場を組立てます。  
床になる部品⑳を上からかぶせる様に  
⑨⑩の凸部分に差込み接着します。



3. 操作場の手すりをつけます。  
手すり㉕㉖は、予め曲げておきます。  
図と写真を参考に本体に手すり㉕㉖を差込み接着します。

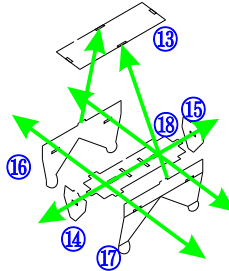


4. 砂箱を組立てます。  
⑯⑰は、予め軽く曲げておきます。

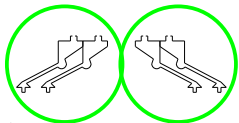


緑のライン部分を  
折り曲げます。

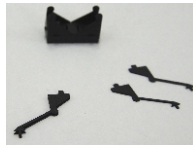
⑱に⑯⑰⑭⑮、最後に⑬の順番で接着します。



5. 次に、部品㉗を2枚重ねて接着します。



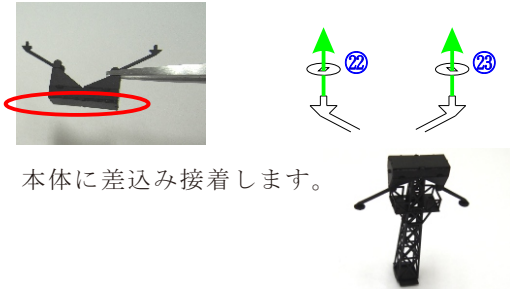
2枚重ねる 2枚重ねる



重ねた部品を、砂箱に差込み接着します。

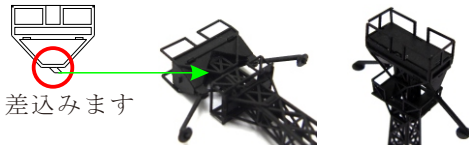


6. ピンセットでつまみながら砂箱と部品⑳を接着します。  
**写真赤丸部分が浮かない様に指で押しえながらつまみます。**  
 つづいて、部品㉒㉓を先端部分に差込み接着します。



本体に差込み接着します。

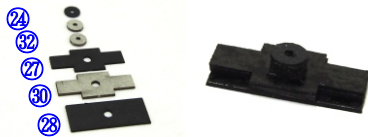
7. 部品㉑㉔を接着します。  
 予め差込み部分を曲げておきます。



差込みます

続いて、㉑㉔を接着します。

8. 給砂配管の差込口を組立てていきます。  
 部品㉕に、㉖㉗㉘二枚、㉙の順番で重ねて接着します



重ねた後に、黒マジックでグレー部分を塗ると見栄えがします。

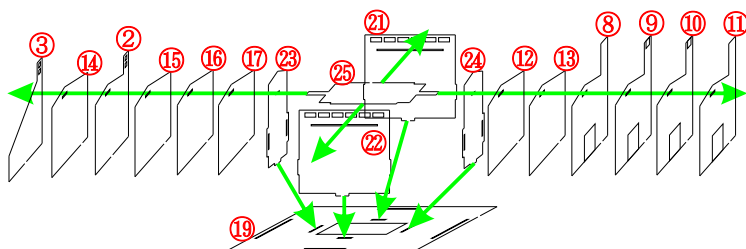
9. 8で制作したものを上部に接着し、  
 土台㉚に固定します。  
 最後にハシゴ㉛を土台に差込み、  
 本体と接着して完成です。



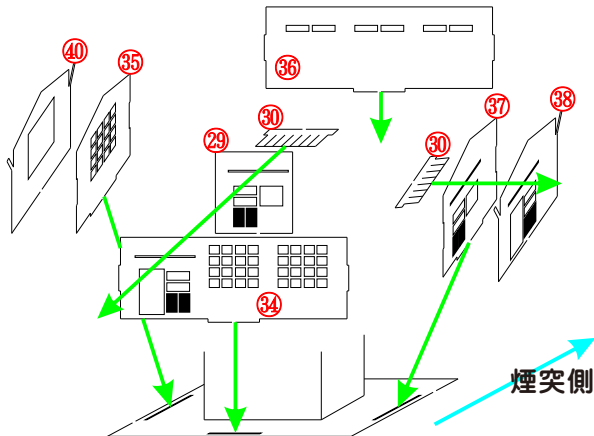
## 砂焼き小屋の組立方法

1. まず、窯と圧送部分から作ります。  
**重ねる順番と左右を間違えないように注意します。**  
 最初に、㉜に㉝㉞㉟㊱を差込み接着した後に、  
 土台㊲に差込み接着します。

次に、㊳㊴㊵㊶㊷㊸、㊹㊺㊻㊼㊽を接着しますが、  
 向きを合わせて、ピッタリと重ねます。  
**㉜の凸部分にボンドが付着しない様にします。**  
 土台との垂直・水平にも気を付けます。  
 (歪みますと屋根がうまく接着できません)



2. 最初に、ひさし③④を②⑨の裏側から差し、そのまま③④に接着します。もうひとつのひさし③④は、②⑨の裏側から差し接着します。土台①⑩に、③④⑤⑥⑦を差込み接着しますが、③④を煙突側⑧にします。③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩（横幅が③④⑤⑥⑦よりも広いです）を中心を合わせて接着します。



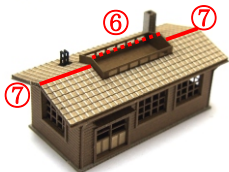
3. 外壁①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩を接着します。  
**⑨は中心がずれない様に注意します。**  
 続いて、ドア部分と窓枠部分に⑪の枠を貼ります。



※窓ガラスが必要な場合は、パッケージの透明箱を部品番号表下の「型」を参考に切出してください。

4. 本体に屋根下地⑪を接着します。  
 続いて、屋根⑫を接着します。  
**下地よりも幅が狭いので中心に合わせて接着します。**

煙突部分（グレー色）に⑬を、送砂管に⑭を差込み接着します。  
 ⑬⑭を接着後に、屋根⑫を接着します。  
 屋根の軒瓦として⑮⑯を接着します。  
 （写真赤線部分に接着）



5. 砂置き場を作ります。  
 部品⑰に、折り曲げた⑱を差込み接着します。  
 建物を載せて完成です。

送砂管として、丸棒を同封しています。お好みで曲げて頂き、給砂塔とつなげて下さい。（写真は弊社関連商品との組合せ例です）

